

宿泊型ゲストハウスにおける暮らし方関連イベント および体験プログラムの実施状況

松 原 小夜子*

Implementation Status of Events and Experience Programs
Related to Way of Living in Guest Houses

Sayoko MATSUBARA

1. はじめに

1.1 宿泊施設としてのゲストハウス

本稿は、日本における宿泊型ゲストハウスの特質を把握しようとする研究の第5報である。本稿を含む一連の研究では、ゲストハウスを、旅館業法上、簡易宿所に分類される宿で、①素泊まりを基本とする、②ドミトリーと呼ばれる相部屋がある、③台所や居間など何らかの共用空間がある、この3つに該当する宿と定義している。

近年増加傾向にあるゲストハウスについては、既報でも述べてきたように、観光学、地理学、心理学、都市計画学、建築学など様々な分野で研究成果が蓄積されつつあるが、これらの研究は、その着眼点により概ね4つに分けることができる。4つとは、①開業実態、②交流機能、③地域との関連、④空間面の特徴である。なお、交流機能については、③や④の研究においても言及されている場合も多く、ゲストハウスの最も主要な特徴であることがわかる。

まず、ゲストハウスの開業実態を捉えようとした研究であるが、本稿の分析とも関連する開業軒数の結果を紹介すると、石川と山村（2014）は、「ゲストハウスやバックパッカーズ、ホステル等と自称している」宿を、2012年5月時点で353軒抽出し、石川（2018）は、2017年5月時点で992軒抽出している。この5年間で639軒増加したことになる。一方、松原（2016, 2018）は、先に述べた定義に該当する宿を、ゲストハウス関連サイトの参照および各宿HPの確認という方法により、2015年8月末時点で581軒、2017年8月末時点で789軒抽出し、この2年間で208軒増加したことを示している。これらの結果からは、ゲストハウスの近年の増加傾向が読み取れる。

次に、交流機能に着目した研究であるが、石川（2012）、林と藤原（2012）、片桐ほか（2015）、氏川ほか（2017）、松原（2017a）、荒川ほか（2018）では、宿泊者同士あるいは

* 生活科学部 生活環境デザイン学科

宿泊者と地域の人々との様々な交流の実態が示され、ゲストハウスの大きな特徴がこれらの交流機能にあることが捉えられている。さらに、地域との関連やまちづくりに着目した研究として、澤田と岡 (2012)、須谷と弥田 (2015)、長田ほか (2015)、小林と森永 (2015)、関川 (2017) では、様々な事例をもとに、ゲストハウスが地域の活性化に寄与する存在であることが捉えられている。また、村上 (2018) は、観光学の視点から、ゲストハウスの登場が、疲弊した観光地の再構成を促す可能性について考察している。最後に、共用空間や宿泊室などの空間面に着目した研究として、大野と山本 (2018) では、地域の人的ネットワークやインターネットを活用したDIYにより、既存農家の空間構成を生かした改修を行い、ゲストハウスとして整備している実態が示され、荒川ほか (2017) では、共用空間および宿泊空間の特性によって宿泊者の滞在場所が異なることなどが示されている。

こういった様々な学問分野の研究からは、ゲストハウスが、安価な宿というにとどまらず、宿泊者や地域の人など、宿に関わる人々の交流を生み、地域を活性化する可能性もあるなど、多面的な特徴を有する存在であることが読み取れる。

これら諸分野の研究的関心に加えて、ゲストハウスは、「住居学」的観点からも注目し得る存在であるといえる。住居学とは、空間に関わる「暮らし方」に関する学問である。ゲストハウスでは、食事や寝具の準備といったサービスを受けず、自ら行うため、宿泊者は、暮らすように泊まる疑似生活体験をすることになる。連泊者あるいはリピーターが多いことも、疑似生活体験と関連深いと考えられ、各宿が提供する暮らしの器や暮らし方の特徴が、宿泊者、とりわけ若者の、暮らし方や暮らしの価値観に何らかの影響を及ぼすのではないかという予測が成り立つ。また、ゲストハウスは、既存の建物を利用して開業される場合が多く、各地に残る農家や町家などの古民家を利用する事例もあり、松原 (2016) は、2015年8月末時点で、全国のゲストハウス522軒中118軒が古民家利用であることを示している。古民家を利用したゲストハウスに宿泊して、食事やくつろぎ、就寝などの生活行為を行うことは、日本の伝統的な住文化や生活文化の一端を体験することでもあり、また、古民家が立地する農山村の暮らしや、宿場町など町家地域の暮らしに触れることにもなるといえ、それらの再評価につながる可能性があることも推察される。こういった視点から、松原 (2017b) では、古民家利用ゲストハウスにおける宿泊者205人を対象として、暮らし方の観点から、宿泊者の特徴、宿泊後の評価、古民家や周辺地域への意識、価値観の変化などを捉え、古民家ゲストハウスは、宿泊者の意識や価値観に影響を与え、現代的な暮らし方や生き方の見直し、昔ながらのそれらの再認識、再評価を促すといった特質を有していると考察している。

1.2 各種イベント・体験プログラム実施の場としてのゲストハウス

これらの研究からは、ゲストハウスの宿泊施設としての特質が浮かびあがってくるが、同時に、ゲストハウスは、必ずしも宿泊を伴わない各種のイベントや体験プログラム（以下では「イベント等」と表記する）が企画、実施されている場であることも見逃せない。ここでいう「イベント」とは、宿が企画する行事のうち、宿泊者などの交流、各種の学びなど、体験を伴わないものを指し、「体験プログラム」とは、同じく、衣食住の暮らし方やモノづくり、農作業、アウトドア関連など、実際の体験を伴うものを指している。こう

いった視点から、松原（2018）では、イベント等に関する研究の端緒として、全国のゲストハウスにおけるイベント等の実施状況を、ゲストハウス関連各種サイトおよび各宿 HP などを参照しながら捉え、イベント等は半数強の宿で実施され、イベントの種類では、「交流・親睦」と「季節の行事」が最も多いこと、体験プログラムの種類では、「暮らし方・モノづくり」が最も多く、日本の伝統的な生活文化、自然環境、農業や漁業、地域の魅力などの再発見につながるような多彩なプログラムが実施されていることを明らかにした。

1.3 本研究の目的

上記の研究では、イベント等を、「交流・親睦」や「暮らし方・モノづくり」などに大別して捉えているが、暮らし方の観点から考察を深めるには、さらに一步踏み込んで、イベント等の具体的な内容の把握が必要である。そこで本稿では、まずは、2018年8月末時点での全国のゲストハウス軒数と、それらのうちのイベント等実施軒数を捉えた上で、暮らし方に関連してどのようなイベント等が実施されているのかを具体的に把握し、考察することをねらいとした。

2. 方 法

2.1 全国のゲストハウス抽出

ゲストハウスの定義は冒頭に述べたとおりであるが、宿によって様々なタイプが存在しているため、抽出にあたっては、以下の点に留意した。①素泊まりを基本としつつ、朝食のみ選択可能な「B&B」方式や、朝夕2食を選択可能なものは含めた。②ドミトリー形式以外に、個室を選択できるものも含めた。③「ホステル」「バックパッカーズ」「宿」などの名称であっても、冒頭の条件にあてはまるものは含めた。④宿が「ゲストハウス」という名称を付けていても、冒頭の条件にあてはまらないものは除いた。⑤冒頭で示した3つの条件に該当していても、「部屋貸し」のみ、「一棟貸し」のみの場合や、カプセルベッドタイプの場合は除いた。⑥ユースホステル協会に属する「ユースホステル」は除いた。⑦「ライダーハウス」と称する宿泊場所のみを提供するものは除いた。⑧一旦開業されていたが、現時点では休業しているものも数軒あったが、これらは除いた。⑨以前は旅館や民宿形式で営業していたが、ゲストハウス形式での営業に変更したものは、ゲストハウス形式での営業開始時点を開業年とした。⑩ゲストハウス形式の継続であってもリニューアルオープンしたものは、リニューアルオープン時点を開業年とした。

ゲストハウスの抽出方法は、ゲストハウス関連の各種サイトを参照して各宿のHPにアクセスし、先に述べたような定義や条件に該当する宿を抽出するとともに、各宿が立地する都道府県市町村名と開業年を捉えた。これらが宿のHPでは把握できない場合は、当該宿のフェイスブックやブログ、当該宿を紹介している各種予約サイト、宿泊体験者のブログなどを参照した。参照したサイトは、ゲストハウスを紹介する「ふらっと」「Footprints」「ひげむう」、宿泊施設HPリンク集「旅行と宿のクリップ」の中の「民宿/ゲストハウス」タイプ、ゲストハウスが多く立地する京都市のゲストハウスを紹介する「京都で遊ぼうSTAY」「京都ゲストハウス総合案内所」、沖縄県のゲストハウスを紹介する「沖縄ゲスト

ハウス・安宿一覧」などである。

2.2 暮らし方関連イベントおよび体験プログラムの抽出

イベントおよび体験プログラムの実施状況については、抽出した宿のHPやフェイスブック、ブログなどにアクセスし、開業以降のそれらの記述を精査して、可能な限り実施されているイベントや体験プログラムをリストアップした。これらのリストから、暮らし方に関連する内容のものを抽出するとともに、それらを、「衣生活」「食生活」「住生活」「モノ作り」「生産・収穫」「暮らし総合」の6つに分類した。「モノ作り」「生産・収穫」を含めたのは、伝統的な自給自足の生活では、生産と消費とがわかちがたく存在していたと考えたためである。

3. 結果と考察

3.1 全国のゲストハウス軒数

2018年8月末時点のゲストハウス軒数を都道府県別開業年別に示したものが表1である。全国で834軒という結果となった。松原(2018)では、2017年8月末時点で789軒との結果を示しており、この1年間で45軒の増加となるが、その内訳は、2017年8月末時点で既に開業されていたが、各種検索サイトに掲載されていないなどの理由で抽出できていなかった宿が24軒、新規開業が24軒、閉館が2軒、一棟貸しへの変更が1軒である。松原(2018)で述べたように、2015年8月末～2017年8月末までの2年間に208軒の新規開業があったことに比べると、開業軒数は減少傾向にあることがわかる。なお、京都市では、近年、ゲストハウスの定義にあてはまる宿が多数開業されているものと推察されるが、各種サイトでは捉えることができず、それらの数は把握できていない。

834軒について都道府県別の軒数をみると、沖縄県が最も多く104軒、次いで京都府が103軒(うち京都市が102軒を占める)である。次いで、北海道70軒、大阪府61軒、東京都60軒などが多い。

開業年別にみると、まず全国では、2009年以降に増加傾向がみられるが、2014年には107軒へと急増し、さらに2015年には最多の138軒、2016年も97軒であるなど、2014年から2016年に最も多く開業されていることがわかる。表1の右端に2014年以降の開業割合を示しているが、2014年から2018年8月末までの5年弱の間に、全国平均で50.6%(422軒)が開業されており、近年、全国的にゲストハウスが増加していることがわかる。2014年以降の開業割合を地域別にみると、中国67.3%、東北と北陸66.7%、四国63.53%、関東62.8%、東海62.5%、九州58.0%など、これらの地域では全国平均よりも高く、2014年以降の開業が盛んであることがわかる。

一方、甲信は全国平均とほぼ同じ50.0%、近畿と北海道は全国平均よりも低い45.8%と45.7%である。さらに沖縄県は16.3%と最も低い値である。甲信では長野県で、近畿では京都市内で2014年以前からゲストハウスが開業されており、北海道でも2014年以前から、いわゆる「とほ宿」と呼ばれる簡易な宿が存在している。沖縄県は、2007年以前の開業が46軒(44%)であるなど、国内で最も早くからゲストハウスが存在してきた地域である。このように、自然環境を生かした観光地域である北海道や沖縄県、長野県、歴史観光

宿泊型ゲストハウスにおける暮らし方関連イベントおよび体験プログラムの実施状況

表1 都道府県別開業年別ゲストハウス軒数

(単位：軒)

	計	～2007年	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2014～	2014～(%)
北海道 計	70	12	1	8	4	4	3	6	14	5	6	5	2	32	45.7
青森県	3						1	1	1					1	33.3
岩手県	0													0	
宮城県	10					2			3	1	2	2		8	80.0
秋田県	3							1			1	1		2	66.7
山形県	2								1			1		2	100.0
福島県	3	1				1					1			1	33.3
東北 計	21	1				3	1	2	5	1	4	4		14	66.7
茨城県	1									1				1	100.0
栃木県	7				2	1		1	1	1		1		3	42.9
群馬県	1	1												0	0.0
埼玉県	2								1			1		2	100.0
千葉県	7	1				1			1	4				5	71.4
東京都	60	7		2	1	3	4	1	8	20	9	5		42	70.0
神奈川県	16	1			2	1	1	5	1	1	1	2	1	6	37.5
関東 計	94	10		2	5	6	5	7	12	27	10	9	1	59	62.8
新潟県	13	1		1			1	1	1	1	5	2		9	69.2
富山県	6								3	1		2		6	100.0
石川県	15			2			2	3	2	1	5			8	53.3
福井県	5		1				1			2			1	3	60.0
北陸 計	39	1	1	3			4	4	6	5	10	4	1	26	66.7
山梨県	9	2			1	1			1	3	1			5	55.6
長野県	35	5	1	1	1	2	1	7	7	6	3	1		17	48.6
甲信 計	44	7	1	1	2	3	1	7	8	9	4	1		22	50.0
岐阜県	20			1	1	2	1	1	3	4	3	2	2	14	70.0
静岡県	12	1	1		2	2		1	2	3				5	41.7
愛知県	15		1	1				2		6	3		2	11	73.3
三重県	9					2		2	1	1	2	1		5	55.6
東海 計	56	1	2	2	3	6	1	6	6	14	8	3	4	35	62.5
滋賀県	1							1						0	0.0
京都府	103	20		2	5	8	8	11	10	15	14	3	7	39	37.9
大阪府	61		3	1	5	2	5	7	3	12	18	5		38	62.3
兵庫県	16			1		3	1	2	1	3	1	4		9	56.3
奈良県	21		3	1	3	5	2			4	2	1		7	33.3
和歌山	12	2			2			1	2	1		3		5	41.7
近畿 計	214	22	8	8	18	18	20	22	20	34	24	20		98	45.8
鳥取県	9						1		3	5				8	88.9
島根県	8						1	2	2	2	1			5	62.5
岡山県	13					1	2	2	5	1	2			8	61.5
広島県	20	1	1			1	5		5	2	2	2	1	12	60.0
山口県	5							1	1	2	1			4	80.0
中国 計	55	1	1			2	9	5	16	12	6	2	1	37	67.3
徳島県	6	1	1			1				3				3	50.0
香川県	23	2	1			1	3	2	2	6	4	1	1	14	60.9
愛媛県	13					1	2	1	3	3	2	1		9	69.2
高知県	7						2			1	3	1		5	71.4
四国 計	49	3	2			3	7	3	5	13	9	3	1	31	63.3
福岡県	27		1		2	1		4	2	3	8	6		19	70.4
佐賀県	3												3	3	100.0
長崎県	16		1	1	1			1		4	5	2	1	12	75.0
熊本県	13	1		2	2			3	1	1	2	1		4	30.8
大分県	10	1	1					2	1		3	2		6	60.0
宮崎県	5		1					3				1		1	20.0
鹿児島県	14	1		1	1	3	1	1	1	3		2		6	42.9
九州 計	88	3	4	4	6	4	4	12	5	12	16	17	1	51	58.0
沖縄県	104	46	4	11	7	7	8	4	10	6		1		17	16.3
全国 計	834	107	24	39	45	56	63	78	107	138	97	69	11	422	50.6

2018年は8月末時点の軒数である。

都市である京都市など、観光が盛んな地域では、近年のみならず、以前からゲストハウスが存在してきたことがわかる。

3.2 6つの分類別にみた暮らし方関連イベント・体験プログラム実施状況

表2は、イベント等を実施しているゲストハウス軒数、総ゲストハウス中のイベント等実施ゲストハウスの割合、「衣生活」「食生活」「住生活」「モノ作り」「生産・収穫」「暮らし総合」の実施割合などを示したものである。なお、東京都と京都府は特異な傾向を示すため、この表では別枠として示している。

834軒のゲストハウスのうち、暮らし方関連のイベント等を実施しているゲストハウスは227軒、全体の27.2%であった。この割合は地域によってかなり差があり、東北が最も高く61.9%、次いで中国が49.1%、東京を除く関東が47.1%、東京都が36.7%、北陸が35.9%などと続く。松原(2018)で指摘しているが、東北、関東、中国では、暮らし方関連以外のイベント等も含むイベント実施率も高く、この理由として、2014年以前に開業された宿の中にイベント等を盛んに実施しているモデルとなるような宿が存在していることが挙げられる。松原(2017a, 2017b)等のオーナーへの聞き取り調査の結果でも、宿の開業や運営にあたっては、近隣地域の既存の宿を参考にする傾向があることがわかり、近隣の既存の宿でイベント等が盛んであれば、新たに開業する宿もその影響を受ける可能性があると考えられる。

逆に、イベント等実施率の低い地域は、京都府14.6%、沖縄県15.4%、京都府を除く近畿22.5%、北海道22.9%などである。観光が盛んな地域では、ゲストハウスが主として観光時の宿として機能していると推察される。

イベント等の分類別にみると、各地で多彩なイベント等が実施されていることがわかる。全体としては、227軒中、「食生活」が最も多く106軒(イベント実施GH中の46.7%、以下の%も同じ)、次いで「衣生活」61軒(26.9%)、「住生活」と「生産・収穫」58軒(25.6%)、「暮らし総合」53軒(23.3%)、「モノ作り」49軒(21.6%)などである。

地域別にみると、東北は、全般に実施率が高く、「住生活」が13軒中8軒(61.5%)、「食生活」と「生産・収穫」が同7軒(53.8%)である。関東も、全般に全国平均よりも高く、「食生活」が16軒中11軒(68.8%)と特に高い。東海も、「モノ作り」以外のすべての分類で全国平均よりも高く、「食生活」が14軒中11軒(73.3%)と特に高く、さらに「住生活」が同8軒(53.3%)、「暮らし総合」が同7軒(46.7%)などである。中国は特に高い値はないが、「食生活」以外のすべての分類で全国平均よりも高く、「食生活」と「暮らし総合」が27軒中11軒(40.7%)である。北陸も全国平均よりも高い分類が多く、「食生活」が14軒中10軒(71.4%)と特に高く、「衣生活」も同7軒(50.0%)と高い。

都道府県でみると、各種のイベントを実施し、多くの分類において全国平均よりも高い県は、山形県、福島県、栃木県、千葉県、新潟県、岐阜県などである。

全般に、西日本よりも東日本の方が、暮らし方関連イベント等の実施が盛んであるといえる。

3.3 衣生活関連

具体的にどのようなイベント等が実施されているのかについて、分類ごとに示したもの

宿泊型ゲストハウスにおける暮らし方関連イベントおよび体験プログラムの実施状況

表2 都道府県別にみた暮らし方関連イベント等実施 GH 軒数

	GH	イベ等 実施 GH	イベ等 実施 GH (%)	衣生活	衣生活 (%)	食生活	食生活 (%)	住生活	住生活 (%)	モノ作り	モノ作り (%)	生産・ 収穫	生産・ 収穫 (%)	暮らし 総合	暮らし 総合 (%)
北海道計	70	16	22.9	4	25.0	8	50.0	4	25.0	4	25.0	3	18.8	5	31.3
青森県	3		0.0												
岩手県															
宮城県	10	7	70.0	1	14.3	3	42.9	3	42.9	1	14.3	3	42.9	1	14.3
秋田県	3	2	66.7	1	50.0	2	100.0	1	50.0			1	50.0		
山形県	2	2	100.0	1	50.0	1	50.0	2	100.0	1	50.0	2	100.0	1	50.0
福島県	3	2	66.7	1	50.0	1	50.0	2	100.0	1	50.0	1	50.0	1	50.0
東北計	21	13	61.9	4	30.8	7	53.8	8	61.5	3	23.1	7	53.8	3	23.1
茨城県	1	1	100.0			1	100.0			1	100.0	1	100.0		
栃木県	7	3	42.9	1	33.3	3	100.0	1	33.3	2	66.7	1	33.3	3	100.0
群馬県	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0								
埼玉県	2		0.0												
千葉県	7	4	57.1	1	25.0	2	50.0	1	25.0	1	25.0	3	75.0	2	50.0
神奈川県	16	7	43.8	3	42.9	4	57.1	2	28.6					1	14.3
関東計	34	16	47.1	6	37.5	11	68.8	4	25.0	4	25.0	5	31.3	6	37.5
東京都	60	22	36.7	7	31.8	6	27.3	4	18.2	3	13.6	1	4.5	2	9.1
新潟県	13	4	30.8	1	25.0	3	75.0	2	50.0	1	25.0	3	75.0	1	25.0
富山県	6	4	66.7	2	50.0	2	50.0	2	50.0	1	25.0	1	25.0	1	25.0
石川県	15	6	40.0	4	66.7	5	83.3	2	33.3	1	16.7	1	16.7	2	33.3
福井県	5		0.0												
北陸計	39	14	35.9	7	50.0	10	71.4	6	42.9	3	21.4	5	35.7	4	28.6
山梨県	9	4	44.4	1	25.0	4	100.0	1	25.0			1	25.0		
長野県	35	9	25.7	1	11.1	4	44.4	1	11.1	3	33.3	2	22.2	2	22.2
甲信計	44	13	29.5	2	15.4	8	61.5	2	15.4	3	23.1	3	23.1	2	15.4
岐阜県	20	6	30.0	2	33.3	4	66.7	2	33.3	2	33.3	2	33.3	3	50.0
静岡県	12	3	25.0	1	33.3	2	66.7	2	66.7			2	66.7	1	33.3
愛知県	15	4	26.7	1	25.0	3	75.0	3	75.0			2	50.0	3	75.0
三重県	9	2	22.2			2	100.0	1	50.0						
東海計	56	15	26.8	4	26.7	11	73.3	8	53.3	2	13.3	6	40.0	7	46.7
滋賀県	1		0.0												
大阪府	61	11	18.0	3	27.3	2	18.2	3	27.3	2	18.2	1	9.1	2	18.2
兵庫県	16	6	37.5			4	66.7	1	16.7	1	16.7	2	33.3		
奈良県	21	5	23.8	1	20.0	1	20.0			1	20.0	1	20.0		
和歌山	12	3	25.0			2	66.7	2	66.7					2	66.7
近畿計	111	25	22.5	4	16.0	9	36.0	6	24.0	4	16.0	4	16.0	4	16.0
京都府	103	15	14.6	8	53.3	6	40.0	1	6.7	5	33.3	1	6.7	1	6.7
鳥取県	9	4	44.4	1	25.0	2	50.0	3	75.0	1	25.0			1	25.0
島根県	8	6	75.0	1	16.7	4	66.7	1	16.7	3	50.0	3	50.0		
岡山県	13	8	61.5	5	62.5	2	25.0	3	37.5	1	12.5	4	50.0	6	75.0
広島県	20	8	40.0	3	37.5	3	37.5	1	12.5	2	25.0	1	12.5	3	37.5
山口県	5	1	20.0					1	100.0					1	100.0
中国計	55	27	49.1	10	37.0	11	40.7	9	33.3	7	25.9	8	29.6	11	40.7
徳島県	6	3	50.0			3	100.0	1	33.3			1	33.3		
香川県	23	2	8.7			1	50.0							1	50.0
愛媛県	13	5	38.5	1	20.0	1	20.0			1	20.0	2	40.0	1	20.0
高知県	7	2	28.6			1	50.0	1	50.0	1	50.0				
四国計	49	12	24.5	1	8.3	6	50.0	2	16.7	2	16.7	3	25.0	2	16.7
福岡県	27	7	25.9			4	57.1	1	14.3	4	57.1			1	14.3
佐賀県	3		0.0												
長崎県	16	3	18.8	2	66.7			1	33.3	1	33.3			2	66.7
熊本県	13	6	46.2	1	16.7	2	33.3	1	16.7	1	16.7	3	50.0	1	16.7
大分県	10	1	10.0			1	100.0					1	100.0		
宮崎県	5	3	60.0			1	33.3							1	33.3
鹿児島県	14	3	21.4			1	33.3			1	33.3	1	33.3		
九州計	88	23	26.1	3	13.0	9	39.1	3	13.0	7	30.4	5	21.7	5	21.7
沖縄県	104	16	15.4	1	6.3	4	25.0	1	6.3	2	12.5	7	43.8	1	6.3
全国計	834	227	27.2	61	26.9	106	46.7	58	25.6	49	21.6	58	25.6	53	23.3

GH：ゲストハウス イベ等：暮らし方関連イベントあるいは体験プログラム

イベ等実施 GH (%)：イベ等実施 GH 軒数/GH 軒数

衣生活 (%)：衣生活関連イベ等実施 GH 軒数/イベ等実施 GH 軒数 (他の種類の数値も同じ)

が表3～8である。具体的項目の多くは、モノ作りや実際の体験に関するイベント等であるが、表を見やすくするため、可能な限り「～作り」や「～体験」などの言葉は省略している。なお、これらの表は、実施されているイベント等の種類を示したもので、合計欄はそれらの種類数である。種類数とは、例えば「衣生活」であれば、「着物着付け」「草木染め」などを各1種類として数えたものである。繰り返し実施されているイベントも多数あり、実際の実施回数はさらに多い。

衣生活関連のイベント等を一覧したものが表3である。「糸・布・衣服作り」「染物」「着付け」「その他」「トーク・上映等」に大別でき、糸紡ぎ・繭紡ぎをはじめとして、布作り、草木染や藍染め、型染めなどの染もの、スカートやTシャツ、エプロンなどの各種衣服作り、着物や浴衣の着付け、着物や浴衣の譲渡、衣服関連の映画上映など、多彩なプログラムが実施されており、日本の伝統的な衣生活に依拠する事例が多い。石油系素材を使わず、使い捨ても防げる「布ナプキン作り」も実施されている。

映画上映会も行われている。「ザ・トゥルー・コスト」は、ファスト・ファッションが生み出される現場の深刻な問題を描出しており、衣服を例にして、大量生産・消費が抱える問題と限界を知らせてくれる。「麻てらす——よりひめ 岩戸開き物語」は、古来より使われてきた大麻の糸績み（いとうみ＝糸紡ぎ）技術を次代へ継承することを願う「よりひめ」の思いや活動を紹介し、自然を敬う心の醸成や、自然と共生した循環型社会の必要性を問いかけている。

地域の特性を生かした事例も多い。例えば福島県の「からむしの糸・布作り」では、からむしの繊維を自分の手で紡いで糸を作り織ってみる体験を通して、土と「身につけている衣服」がつながる実感が得られ、「地に暮らす」という意味を知ることができる。神奈川県「鎌倉の植物による染もの」、愛知県の「有松絞り」、石川県の「五箇山和紙のボタン作り」など、地域の素材と伝統的なモノ作りの手法を引き継いだ体験プログラムが実施されている。

3.4 食生活関連

食生活関連のイベント等を一覧したものが表4である。「食品作り」「調理」「菓子作り等」に大別でき、全般に日本食に関連する様々な体験プログラムが各地で実施されている。

「食品作り」では、市販の食品ではなく自らの手で作る事例が豊富である。餅つき、蕎麦打ち、手作り味噌、麴・酵母関連などをはじめ、手打ちうどん、こんにゃく、豆腐や納豆などの大豆食品作り、パン焼き、釜炊きご飯などである。

「調理」では、全般に日本食が中心であり、寿司、おせち料理、炊き込みご飯などが多く行われている。自然食、精進料理、食養生料理、マクロビオティック料理、ローフードマイスター講座、麴の話など、自然の摂理を生かし、健康に寄与する料理の体験や講座が行われていることも特徴である。

地域の特性を生かした事例も多い。北海道では、畜産地域を反映して、バターやチーズ、ハムなどの食品作りが行われている。地域の食材と料理法による郷土料理も多く、秋田県の「きりたんぼ鍋」、福島県の「凍み餅」、山梨県の「ほうとう」、岐阜県の「ね寿司」、静岡県「玄米茶を煎って頂く」、沖縄県の「沖縄料理」などである。

宿泊型ゲストハウスにおける暮らし方関連イベントおよび体験プログラムの実施状況

表3 衣生活

	糸・布・衣服作り	染物	着付け体験	その他作り	トーク・上映等
北海道	純白の繭紡ぎ デニム生地でエプロン	Tシャツにシルクスクリーン コーヒー染めハンカチ		マクラメ	
北海道計	2	2		1	
東北	からむしの糸・布 野良着	織と草木染め	着物着付	草履 カンジキ	
東北計	2	1	1	2	
関東		草木染め 友禅染・型染め・茜染 鎌倉の植物で染めもの	着物着付	布草履 布ナブキン マスク	「ザ・トゥルー・コスト」 上映会
関東計		3	1	3	1
東京都	家庭科室（服作りなど） こども家庭科教室 しましまミシンの会 オリジナルTシャツ作り 手ぬぐいの赤ちゃん基平	自分で染める浴衣作り 藍染め(2) 草木染 型染め シルクスクリーン(2)	着物着付(3)	鍵針網のミニコースター	
東京都計	5	7	3	1	
北陸	糸紡ぎ 絹のふんどしパンツ		着物着付 亀田綿試着 和装研究会・撮影会	布草履 カンジキ 五箇山和紙のピンバッヂ &ボタン	
北陸計	2		3	3	
甲信	チクチク作る	シルクスクリーン	着物着付		
甲信計	1	1	1		
東海	和裁教室	ハーブを使った草木染め 有松絞り	着物着付(2) 浴衣着付 浴衣でまち歩き		
東海計	1	2	4		
近畿		ベンガラ染	着物アレンジ講座 浴衣着付(3)	和紙の巾着	着物お譲り会 浴衣お譲り会
近畿計		1	4	1	2
京都府		草木染め インディゴ染め タイダイ染 シルクスクリーン	着物着付(4) 浴衣着付(2)		
京都府計		4	6		
中国	糸紡ぎ 手縫いでスカート 新聞紙でドレス作り 服のリメイク	藍染め(2) 草木染(2) 梨・ビワ・梅の草木染 桃染め ベンガラ染め	浴衣着付(2) 着物着付		岡山リアルクローズ 研究 野良着展示・試着
中国計	4	7	3		2
四国					「麻てらす」上映会+ 監督トーク
四国計					1
九州		型絵染 染物	レトロアンティーク着物 着付	布ナブキン	
九州計		2	2	1	
沖縄県				島ぞうり	
沖縄県計				1	
全体計	17	30	28	13	6

表4 食生活

	食品作り等	調理等	菓子等
北海道	餅つき(3) 蕎麦打ち(2) 味噌 バター・チーズ・ベーコン・ハム・ ソーセージ・スモークチキン	寿司にぎり 韓国料理	和菓子 チョコムース アイスクリーム
北海道計		7	2
東北	餅つき(2) 蕎麦打ち(3) 味噌 豆腐 ポリ袋でパン ジャム	親子で学ぶ自然食 冬の保存食 手作りきりたんぼの鍋 団子さし、凍み餅、笹巻き しそ巻き、焼き芋 炊き込みご飯 ピザ等石釜体験 鯖のオレンジソース	ずんだ餅 麦芽飴 フレッシュジュース
東北計		9	11
関東	餅つき(3) 蕎麦打ち 味噌(2) こんにゃく 釜戸炊きご飯 パン	昔からの知恵の保存食 季節の恵みをいただく料理 灘し蟹の味噌汁 きりたんぼ鍋 七草粥 デコ巻き寿司 季節に合った食養生法(マクロビオ ティック)の話	栞餅 スムージー
関東計		9	7
東京都	餅つき(2) 蕎麦打ち 味噌 うどん こんにゃく	和食(2) 伝統的食養生精進料理 きりたんぼ ほしも炙ろう語ろう 川魚を捌いて火鉢で焼く おやしき、巻き寿司、甘酒	
東京都計		6	9
北陸	餅つき(2)、鏡餅 味噌(3) 納豆、豆乳、豆腐 塩麴(2)	地物キノコ鍋 おぼんざい バジル摘みとバジルソース 甘酒 ピザ 収穫&かぼちゃ料理 キス釣り&調理焼き芋	どんぐりクッキー
北陸計		11	7
甲信	餅つき(2) 蕎麦打ち 味噌(2) ほうとう こんにゃく	柚子餅つき&鹿肉料理 料理教室 おせち料理 恵方巻き	酵素ジュース
甲信計		7	4
東海	餅つき(5) 蕎麦打ち 味噌(2) 白菜・カブ・大根収穫と漬物仕込み らっきょう	精進料理教室 マクロビオティック料理 もち花 魚さばき お正月料理 ね寿司 ピザ釜ピザ焼き(2) 名古屋メン&寿司	玄米茶を自分で煎って頂く(紅茶版 もあり、お茶作りや器づくりの話も あり) 干し柿
東海計		10	9
近畿	餅つき(5) うどん 蕎麦打ち	石釜ピザ焼き 魚さばき 料理教室(2)	栞餅
近畿計		7	4
京都府	餅つき(2) うどん 梅酒	各種料理	日本酒講座
京都府計		4	1
中国	餅つき(3) 蕎麦打ち うどん 納豆 万能酵母液 梅酒 甘酒、塩麴	笹巻 炭火料理 あるもので作る おむすび キス釣り&調理	和菓子
中国計		10	5
四国	うどん(2)、パン 焼製	料理	和菓子 饅頭
四国計		4	1
九州	餅つき 蕎麦打ち 味噌(2)、醤油 釜戸炊きご飯 縄文釜戸体験(ご飯、ピザ) 麴の話	発酵料理 辛子連環 ローフードマイスター講座 タイ料理	バームクーヘン
九州計		8	4
沖縄県	餅つき(2) 蕎麦打ち 味噌 パン	沖縄料理 有機野菜ピザ	
沖縄県計		5	2
全体計		97	66
			19

宿泊型ゲストハウスにおける暮らし方関連イベントおよび体験プログラムの実施状況

表5 住生活

	建物改装	住関連モノ作り	住生活	屋外	空き家関連・上映会等
北海道	一階の改装 ペンキ塗り DIY	DIYBBQ (火焚き台、カ ウンターなど)	薪割り(2)		
北海道計	3	1	2		
東北	壁塗り DIY(3)	本棚 月山和紙の灯り	薪割り	東屋 カマクラ	シェアハウスお披露目
東北計	4	2	1	2	1
関東		掘りごたつ ミニ門松 鯉のぼり	オフグリッドソーラー講座		
関東計		3	1		
東京都	土壁作り 壁塗り(2) ワックス塗	囲炉裏		穴窯小屋の再生	シェアハウスのつくりかた
東京都計	4	1		1	1
北陸		ミニ門松	薪割り 片付けから始める生前整 理の話 収穫とゆず風呂		空き家見学会・対策セミ ナー(2) まちなかぐらし応援隊住 まいの見学会 空き家・移住相談
北陸計		1	3		4
甲信	古民家改修 あずみの家づくり 応援隊(壁塗りなど)		薪割り ロケットストーブ作り& 使い方講習		
甲信計	2		2		
東海	家の修繕(床張り) 床板張替	竹灯り	薪割り(2) 楽しい5A生活 非電化な暮らしを語る合宿 オフグリッドソーラー講座 障子張替え、畳干し、備 品手入れ、大掃除	庭手入れ	高山空き家見学会&トーク 空き家ツアー
東海計	2	1	9	1	2
近畿	土蔵内装整備 DIY	椅子ファブリック張替	大掃除 縁側クリーニング	芝生貼り	尾道空き家再生プロジェ クトが和歌山にやってくる! !
近畿計	2	1	2	1	1
京都府			軟水銭湯体験		
京都府計			1		
中国	古民家改装 DIY(2) 土壁塗り	しめ縄&門松 竹灯り(2) ぬいぐるみの懐中電灯	「箒」作りと丁寧に暮らす お話し会 障子張替え	焚き火 ピザ土窯作り	DIY密着ドキュメンタリー 『BOOKSTORE〜移住編〜』 上映会
中国計	4	4	2	2	1
四国		ファブリックパネル		ログハウス	
四国計		1		1	
九州	改装 漆喰塗り講習会	ひょうたんランプ 門松 しめ縄	街のお掃除隊		
九州計	2	3	1		
沖縄県		「シーサー」色塗り			
沖縄県計		1			
全体計	23	19	24	8	10

松原 小夜子

表6 モノ作り

	衣食住関連モノ作り	その他のモノ作り	トーク・上映会等
北海道	箸 ディッシュプレートに絵付け キャンドル	「シエラレオネ」の話と現地布と日本5円玉を使ったキーホルダー ヌメ革パッチワーク	
北海道計		3	2
東北	鍋をたたいて作る小鍋 すだれのつくり方で作る鍋敷き	暑中見舞いハガキ ブドウ皮小物 鎮魂の願いを込めた仏花	
東北計		2	3
関東	陶芸 紙クラフトのバッグ・小物 普段使いの竹籠 キャンドル	消しゴムハンコ	
関東計		4	1
東京都	木のスプーン へんぼり焼, 陶芸 消しゴムはんこのオリジナルトートバック		
東京都計		3	
北陸	ソーサー・スプーン・ぐい飲み絵付け 竹風鈴&うちわ	ハンコ	
北陸計		2	1
甲信	スプーン(2) バターナイフ オリジナル手ぬぐい	写真年賀状	
甲信計		4	1
東海	スプーン 桃の節句の木工教室		
東海計		2	
近畿	和紙で作るあじさいうちわ&葉書	消しゴムハンコ スパイラル	「丸木舟」上映会
近畿計		1	2 1
京都府	ダンボール時計等 ドライフラワースワッグ(壁飾り)	ヌメ革, 真鍮, コケ玉 折り紙教室	
京都府計		2	4
中国	親子で作るエコバック キャンドル(3.11に向けて) い草の機織り い草手織りコースター 金継ぎ	水引 オリジナル消しゴムハンコで作る年賀状 コケテラリウム 海図によるオリジナル財布・ブックカバー, 木製ポストカード	
中国計		5	4
四国	オリジナルうちわ	ハーバリウム	
四国計		1	1
九州	スプーン(2) 金継ぎ ステンドグラス 夜光貝アクセサリー	シククスクリン印刷 革細工 コケ玉	
九州計		5	3
沖縄県	キャンドル	宝貝ストラップ 革細工	
沖縄県計		1	2
全体計		35	24 1

宿泊型ゲストハウスにおける暮らし方関連イベントおよび体験プログラムの実施状況

表7 生産・収穫

	農林漁業	野菜等収穫	トーク・上映会等
北海道		山菜取り、ブルーベリー狩り ワカサギ釣り	自分らしい農ライフトーク
北海道計			3
東北	田植え、稲刈り、農業 じゃがいもの種芋植え付け とうもろこし種まき 大豆の苗植えと笹巻き作り 定置網漁	野菜収穫・調理 山菜採り、山菜教室、きのこ採り 雪廬大根 枝豆収穫とピザづくり ジャガイモの花摘み イワナ釣り	田んぼの水中除草ロボット試運転&解説
東北計	7	8	1
関東	田植え(2)、稲刈り(2) 草刈り等農業	オーガニック野菜収穫 じゃがいも収穫、さつまいも掘り	
関東計	5	3	
東京都	農業 林業	茶摘み・檜原紅茶作り	半農半Xトーク
東京都計	2	1	1
北陸	田植え(3)、稲刈り(3) 農業 お泊り農業	野菜収穫 溪流釣り	
北陸計	8	2	
甲信	田植え(2)、稲刈り(2) 米作り、緑農 えごま栽培、野菜の種まき	野菜収穫 柚子狩り、ブドウ狩り ブルーベリー狩り、りんご狩り	
甲信計	8	5	
東海	農業体、自然農 農業・稲刈り 畑作業・有機循環農業の話と体験 畑の片付け 月のリズムで有機野菜を作る農園と一緒に種から野菜を植える	芋ほり、筍掘り 山菜男子と山野草を取って食べる 山菜摘み	
東海計	6	4	
近畿	田植え(2)、稲刈り	黒枝豆狩り、いちご狩り ひじき摘み、釣り サバキのわち刈り	
近畿計	4	5	
京都府	漁師体験		
京都府計	1		
中国	田植え(4)、稲刈り(4)、稲こぎ 農業(2) い草の植え付け、い草先狩り	ブルーベリー狩り	「よみがえりのレシピ」上映会 百姓シンガーソングライターライブ
中国計	13	1	2
四国	農業	ヤギの乳搾り 果樹の受粉作業&まるごと果実のジャム	農民ロッカーの「土水空ツアー」
四国計	1	2	1
九州	田植え、イチゴの苗植え 有機農業、農村体験 漁業体験 船釣り		
九州計	6		
沖縄県	農業	みかん狩り 潮干狩り、釣り	
沖縄県計	1	2	
全体計	62	36	6

表8 暮らし総合

	マルシェ等	暮らし体験等	トーク・上映会等
北海道	フリマ	半自給自足生活イベント	十勝で躍動するライフ・シフト100年人生時代トーク イマ世界が求める本質的なモノって何？トーク 157カ国を自転車で巡った小口さんの話 マダガスカル原始生活体験記 南極での暮らし方の話 グランテッド・フィルム上映会
北海道計	1	1	6
東北	マルシェ ぶつぶつ交換市	里山生活	
東北計	2	1	
関東	フリマ(2), マルシェ 必要のないものを必要とするひとへ届ける素材市	里山から学ぶ サバイバルワーク 地球暦ワーク	半農半Xトーク 「365日のシンプルライフ」自主上映会 自転車旅を語る会
関東計	4	3	3
東京都	マルシェ	田舎暮らし	「暮らしを作る」トーク
東京都計	1	1	1
北陸	フリマ	とやまの暮らし パーマカルチャーワーク 地方移住・田舎暮らし	田舎で自分らしく暮らすお話し てぶら革命——てぶらで暮らす・生きるトーク 南北アメリカ縦断自転車旅お話し 秋の薬草ワーク&『僕たちが農的暮らしをはじめた理由』トーク 暮らしかた冒険家「別れかた 暮らしかた」上映会&トーク 子ども語り部教室
北陸計	1	3	6
甲信	フリマ		
甲信計	1		
東海	マルシェ(2), フリマ	田舎のいろいろな仕事 パーマカルチャー講座	「森本家世界一周子育ての旅」トーク 半農半X講演会 ミニマリスト佐々木典士さんトーク 130か国を旅するエコロジストのお話し 南北アメリカ自転車縦断トーク 「アラヤシキの住人達」上映会 「こどもこそミライ」上映会
東海計	3	2	7
近畿	物とモノ交換会 青空やさい市(2) こどものもの交換会	世界一周疑似体験ツアー	
近畿計	4	1	
京都府	フリマ		
京都府計	1		
中国	フリマ(3), 古本市 やまのうえのマルシェ @吹屋ふるさと村	暮らしトーク 心豊かに暮らす田舎暮らし文化祭 「衣・食・住」ワーク&トーク てぶら革命トーク ゆりはま暮らし 旅の話(タンザニア, インド, 台湾) ふんどしゴミ拾い	テnderと語るエネルギーの未来 自分の素敵を発見するトーク 好きなことを仕事にして生きていく方法トーク サイクリストによるトーク 世界一周松井家トーク
中国計	5	7	5
四国	古本市		ノマド的節約術座談会
四国計	1		1
九州	お金が介在しないフリマ 古道具マルシェ		一輪車世界一周講演会, スローライフ フィリピンの村写真展&トーク しごとの話わたしの話〜聴く, 話すことで見えてくるもの
九州計	2		4
沖縄県	マルシェ, フリマ		
沖縄県計	2		
全体計	28	19	33

3.5 住生活関連

住生活関連のイベント等を一覧したものが表5である。「建物改装」「住関連モノ作り」「住生活」「屋外」「空き家関連・上映等」に大別でき、様々な体験プログラムが各地で実施されている。

「建物改装」では、既存建物を手入れして使い続けるための様々な改装、壁塗り、漆喰塗り、各種DIYなどが実施されている。「住関連モノ作り」では、門松やしめ縄、箒、こたつや囲炉裏などの日本の伝統的な暮らしに関連するモノ作り、竹灯り、ひょうたんランプ、月山和紙灯りなど、自然の素材を生かした循環型の灯り作りが実施されている。

「住生活」では、薪割り、オフグリッドソーラー、5A生活、非電化な暮らし方など、省資源や再生可能エネルギーの利用に関する事例、障子の張替え、畳干し、大掃除、箒の話など昔ながらの家と暮らしの手入れ法を体験する事例などがある。

「空き家関連・上映等」では、空き家の活用をねらいとした見学会やトークイベントが開催されている。DIY密着ドキュメンタリー映画『BOOKSTORE～移住編～』は、鳥取に移住して、自給自足の暮らしと本屋のオープンを目指す若者の本屋づくり奮闘記である。

3.6 モノ作り

モノ作り関連のイベント等を一覧したものが表6である。「衣食住関連モノ作り」「その他のモノ作り」「トーク・上映会等」に大別できる。

木を加工してスプーンや箸などを作る体験プログラムが各地で行われており、実施しているゲストハウスのFBでは、子どもたちに緑豊かな地球を残せるよう、人が森と繋がるようにとの願いが込められていることが読み取れる。

竹やブドウ皮、い草などを用いた編物や織物、和紙によるモノ作り、焼き物なども実施されている。ブドウ皮小物は、使い込むほどに味わいが深まる奥会津の伝統工芸の体験である。い草の機織りや手織りコースター作りは、戦後の住様式の変化の中で途絶えてしまったい草生産を復活させ、機織りなどを体験するプログラムである。へんぼり焼きは、東京都人里集落での薪窯による焼き物体験である。こういった自然の素材を使ったモノ作りは、人と自然の繋がりを感じさせてくれる貴重な体験であるといえる。その他、金鍮で銅をたたいて鍋を作るというかなり高度なモノ作りも合宿形式で行われている。

「山人の丸木船」「アイヌの丸木船」の上映会なども行われている。実施しているゲストハウスのHPによれば、丸木舟とは木をくりぬいて作った舟を指し、工程の多くが手作業で行われており、共同体の共有財産として大切にされたとのことで、機械化と個人化が進む今日のモノ作りや暮らしのあり方に示唆を与えてくれるといえる。

3.7 生産・収穫

生産・収穫関連のイベント等を一覧したものが表7である。「農林漁業」「野菜等収穫」「トーク・上映会等」に大別できる。田植え、稲刈りなどの米作り、野菜作りなどの農業体験、野菜や果物、山菜などの収穫体験、定置網漁、釣り、ひじき摘みなどの漁業関連体験、林業体験などが行われている。

自然志向の農業が体験できることも特徴である。例を挙げると、合鴨農法による米作り、種から有機野菜を植えるワークショップ、有機循環農業による米・野菜・卵の育成、

耕さず、肥料・農薬を用いず、草や虫を敵としないことを3原則とする自然農による米作り、米、野菜、果実などの有機農業等々の体験プログラムが実施されている。

また、「半農半X」に関するトーク、漁師・百姓・詩人のシンガーソングライターによるライブ、土と水と空から生まれた命を歌う農民ロッカーの「土水空ツアー」などもある。映画では、大量生産、大量消費に敵応できず忘れ去られてしまった在来作物を、今日によみがえらせ継承していこうとする人々の姿を描いた「よみがえりのレシピ」が上映されている。

3.8 暮らし総合

衣食住などの暮らしに総合的に関連するイベント等を一覧したものが表8である。「マルシェ等」「暮らし体験等」「トーク・上映会等」に大別できる。

マルシェ等では、モノの有効利用をねらいとするフリーマーケットや、「物とモノと交換市」「必要のないものを必要とするひとへ届ける素材市」「お金が介在しないフリマ」などのぶつぶつ交換、地域の特産品やこだわりの品、古道具、古本等を出展する各種マルシェなどが開催されている。

暮らし体験等では、半自給自足生活、里山生活、田舎暮らし、パーマカルチャーなど、自然との共生を指向する体験や講座が実施されている。その他、「地球暦」ワークは、太陽系を一兆分の一に縮小して春分から始まる円の一周で一年を表そうと考案された暦を用いて、地球規模での自分の立ち位置や、すべての生き物が共有する時の流れを感じてもらうワークであり、「衣・食・住」ワーク&トークは、地球の暦・養生・エネルギーなど、豊かで持続可能な命について考えるワークである。

トークや上映会も各地で開催されている。トークでは、人力の自転車世界を巡る旅の体験談、近代化が進行していない国や地域での暮らし方体験談、地方での仕事の作り方や暮らし方の話、半農半Xや農的暮らしの話、シンプルライフやミニマルライフの話などが行われている。「狩猟女子」島山千春さんの「食べ物」「仕事」「エネルギー」を自分たちで作る自給自足的暮らし方の話、未来のエネルギー、先住民技術と対話、自給自足生活などをキーワードとしたエネルギーの話、スローライフの話、21世紀が求める豊かさの話などがある。また、「てぶら革命——てぶらで暮らす・生きる」は、消費や競争などで生きづらくなっている今日、「持つ」こだわりから自由になって人と人がつながり、新たな何かを生み出すことによって、人間らしい暮らしや生き方を見出そうとするトークである。

上映会では、自然の中で全力で遊ぶ保育、ハンディのある子もない子もみんな一緒に育ち合う保育などを描く「こどもこそミライ」上映、ハンディのある人を含め様々な人たちが農業をしながら互いを認め合い支えあって暮らす真木共働学舎の日々を追った「アラヤシキの住人たち」上映などが開催されている。

4. まとめ

暮らし方関連のイベントや体験プログラムについて具体的な内容に着目して実施状況を捉えたところ、以下の結果を得た。

宿泊型ゲストハウスにおける暮らし方関連イベントおよび体験プログラムの実施状況

① 2018年8月末時点のゲストハウス軒数は834軒であり。これらのうち、暮らし方関連イベント等実施ゲストハウスは227軒（27.2%）であった。この割合は地域によってかなり差があり、東北、中国、東京を除く関東などでは高く、京都市、沖縄県、京都市を除く近畿、北海道などでは低い結果であった。観光が盛んな地域では、ゲストハウスは観光時の宿として機能していると推察される。

② イベント等を「衣生活」「食生活」「住生活」「モノ作り」「生産・収穫」「暮らし総合」の6つに分類して捉えたところ、全体として「食生活」が最も多く、次いで「衣生活」、「住生活」と「生産・収穫」、「暮らし総合」、「モノ作り」の順であった。地域別にみると、各種のイベントを実施し、多くの分類において全国平均よりも実施率の高い県は、山形県、福島県、栃木県、千葉県、新潟県、岐阜県であるなど、全般に、西日本よりも東日本の方が、暮らし方関連イベント等の実施が盛んであることがわかった。

③ イベント等の具体的内容を捉えたところ、共通する3つの特徴点が浮かび上がった。第一は、着物や浴衣の着付け、味噌仕込みや餅つき、壁塗りといった日本の伝統的な暮らしへの着目、第二は、地域の伝統産業や伝統工芸、郷土料理といった地域の特性を生かした暮らしへの着目、第三は、自然素材、自然食、有機農業、自給自足といった自然と共生する循環型の暮らしへの着目である。全体として、いずれの分類においても、暮らし方に関する多彩なプログラムが実施されていることがわかった。

参考文献

- 荒川雅彦, 水谷晃啓, 勝野幸司 2017: 商店街空き店舗を活用したゲストハウスの計画手法に関する基礎的研究, 日本建築学会大会学術講演梗概集(中国), 379-380.
- 荒川雅彦, 水谷晃啓, 勝野幸司 2018: 商店街空き店舗を活用したゲストハウスが生む近隣交流に関する研究, 日本建築学会東海支部研究報告集(56), 525-528.
- 林幸史, 藤原武 2015: 旅行者が交差する場としてのゲストハウス——交流型ツーリズムの社会心理学的研究, 関西学院大学社会学部紀要(120), 79-87.
- 石川美澄 2012: 地域社会における小規模宿泊施設の役割に関する一考察——長野市善光寺門前のゲストハウスのイベントを事例として, 生活学論叢(20), 95-102.
- 石川美澄 2018: 国内におけるゲストハウスの特徴の変化に関する一考察——2012年と2017年に実施した質問紙調査の比較, 都市計画報告集17, 64-70.
- 片桐由希子, 梶山桃子, 東秀紀 2015: 都市部の簡易宿所型ゲストハウスにおける交流機能に関する研究, 観光科学研究(8), 61-69.
- 小林祐太, 森永良丙 2015: 地域に開かれた宿泊型ゲストハウスの実態と可能性に関する研究, 日本建築学会大会学術講演梗概集(関東), 191-192.
- 松原小夜子 2016: 都道府県別にみた宿泊型ゲストハウスの開業実態, 椋山女学園大学研究論集 自然科学篇(47), 95-107.
- 松原小夜子 2017a: 古民家ゲストハウスにおける宿泊者の行動と会話内容——人々の交流状況に着目して, 椋山女学園大学研究論集 自然科学篇(48), 159-180.
- 松原小夜子 2017b: 暮らし方に着目した古民家ゲストハウス宿泊者の意識と価値観, 人間と生活環境24(2), 47-59.
- 松原小夜子 2018: 宿泊型ゲストハウスにおけるイベントおよび体験プログラムの実施状況, 椋山女学園大学研究論集 自然科学篇(49), 95-107.

- 村上和夫 2018：訪日観光者の増加による観光地の革新についての研究——大衆、廉価、共有、地域連携などを軸とする Architectural Innovation, 立教大学観光学部紀要20, 4-8.
- 長田浩幸, 横山俊祐, 徳尾野徹 2015：宿泊施設型ゲストハウスと地域との連関に関する研究, 日本建築学会大会学術講演梗概集 (関東), 911-912.
- 大野銀河, 山本幸子 2018：農山村地域における移住者主体による空き家を転用したゲストハウスの改修内容・手法と経営形態, 日本建築学会技術報告集24(56), 409-413.
- 澤田彩希, 岡絵理子 2012：都市型短期滞在型ゲストハウスの地域まちづくりの可能性に関する一考察, 都市計画学会関西支部研究発表会2012, 1-4.
- 関川卓司 2017：新しい宿泊形態（ゲストハウス・民泊）の出現による町家地域の再生の可能性——奈良市ならまち・京終地域の事例を中心に, 創造都市研究 e 12(1), 9-29.
- 須谷悠希, 弥田俊男 2015：ゲストハウス宿泊者の外出行動圏域に関する研究, 日本建築学会中国支部研究報告集38, 857-860.
- 氏川拓郎, 森傑, 野村理恵 2017：ゲストハウスの滞在者の行動と共用空間のあり方との関係に関する基礎的考察, 日本建築学会大会学術講演梗概集 (中国), 575-576.